

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
 発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日本退公連・鈴木共同ビル5F
 電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ totaikou.jp/

明けましておめでとうございます。本年も皆さんと共に新しい年を迎えられたことを心から喜んでおります。◎言行一致の年に

巻頭言を書きつつ、「冬来たりなば、春遠からじ」の詩が頭を過った。辛い時期を耐え抜けば、きっと幸せな時期が必ず来るという。イギリスの詩人シェリーの「西風に寄せる歌」の一節。英語では「If winter comes, can spring be far behind?」とか。さて、一昨年来、本会



耐え忍び、改めて伝えたい「本会の心」
 —春を待つ気持ちは今も続く。—
 東京都退職校長会会長 多田 丈夫

も新型コロナウイルスとの戦いに翻弄され、今なお先の見えないまま正月を迎えた。それでもこの困難な最中、英知を結集して本会の体質強化に努め、会員の熱意と努力で一つ一つ成果を挙げている。「会員の呼称」の確定然り、「新たな支部運営規則や規程」の制定、それに「支部長会の権限強化」や「手作りの会員名簿づくり」の取組等に懸命だった。だが、難題も多い。究極の課題は、「会員増強」の一点にある。今年こそ、この課題が実を結ぶ「言行一致の

年」にしなければならぬ。まずは、言葉の世界から現実のギャップを埋め、腹を据え、その実現に奮起したい。会員約2,500名の不退転の決意があれば、この危機的状況を突破できると信ずる。思案に暮れる時、いつも「支部だより」から勇気と元気をいただく。そう、この会報が届く頃は、冬の霊峰富士が茜色に染まるだろう。新たなステージに向かい順風満帆の日を期待したい。

◎コメント・ポリシーを
 コロナ禍が長引き、漠然とした不

安を抱える人が多くなった今、俄かに、皇室の慶賀のニュース等々からコメント・ポリシーが話題となった。情報化の中でマスコミや報道のコメント欄は、多様な意見や考え、感想が集まり、他人の意見や考えに触れ、自分の考えを整理し、より深く、多角的に理解できる安心・安全な場でもある。しかし、情報の偏り、不安の正当化、誹謗や中傷等、公序良俗に反するコメントや行為も目に余る。「表現の自由」は無制限ではないだろうに。折しも小・中・高校での「教

科書のデジタル化」の報道も盛んだ。しかし、デジタル化に不安を感じている教員や保護者も多い。何のために教科書をデジタル化するのか、未だ明解はない。重要なのは、教科書を使って何を教えるかだ。国は、各学校に端末を23年度までに配布する計画と聞く。教育の基本は、本を読む、文章を書く、物事を考える等である。発達段階を無視し、デジタル教科書の導入を急ぎ、無制限に使える環境となっていくことが教育的なのか、よくよく考えたい。豊かな心を育て安心・安全でありたい教育界にもコメント・ポリシーの環境づくりを急ぐことが先決だろう。初春、つれづれなるままに記す。

主な記事

- P1 巻頭言 会長挨拶
- P2 令和3年度会員研修会報告
コロナ禍の中の支部活動
- P3 令和3年度春の叙勲受章会員
令和3年度秋の叙勲・高齢者叙勲受章会員
- P4 クラブ紹介
- P5 情報推進部開設の趣旨
- P6 新入会員の声
- P8 物故者、会員増強プロジェクト・チーム
コラム、応募コーナー、編集後記

令和三年度会員研修会報告
『生き生き人生を目指して』
「パズルを解いて楽しもう」
生涯学習部

○期日 令和3年11月19日(金)
○会場 都立多摩図書館 二階
○講師 田中 弘志先生
中野支部長

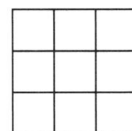
多田会長の挨拶と講師紹介の後、研修が始まりました。



研修内容は、問題を中心にして、(1)折り紙を使ったパズル(2)紐を使ったパズル(3)理科パズル(4)数学パズルの順に進められました。次に問題の一部を紹介しますので、挑戦してみてください。正解は8ページにあります。

【問1】折り紙(正方形)を対角線で折ると、直角二等辺三角形が四つできます。これを並べてできる図形はどれでしょうか。
①長方形 ②台形 ③ひし形
④平行四辺形 ⑤正三角形

【問2】左の図の3×3の正方形魔法陣に1～9までの数を枠の中に入れて、縦・横・対角線の和が等しくなるように解いてください。



【問3】左の図は有名なパズルです。9個の点を出来るだけ少ない線分で切れないように結んでください。(4本)



研修に参加した皆さんは、難問に四苦八苦しながらも熱心に楽しく挑戦していました。

このように折り紙や紐を操作したり、考えたりすることが私達の脳の活性化につながるのではないのでしょうか。

最後に、藤崎副会長の謝辞で研修会が終了しました。



(生涯学習部 富岡義光)

コロナ禍の中の支部活動

コロナ禍の支部活動

千代田・中央支部長 鈴木 正孝

今年度支部長に就任しました鈴木です。よろしくお願いいたします。コロナの影響で通常の活動は皆無で、支部会も対面とリモートの併用開催です。

本支部会では支部会の議題に会員の近況報告を入れています。話題は自分や家族の病気や介護の大変さや趣味の動植物の飼育栽培など多種多様です。

今年度はミニ講演と称してテーマを決めて少し長めにまとまりのある話をしてもらいました。先日は三田会員の現職当時在職した中央区立阪本小学校の思い出を話してもらいました。もう退職してから何年も経過したはずなのに、まるで昨日のことのようにいきいきと語っていました。

これからコロナが次第に収束し改善されたら、ウォーキングを早速行おうと思います。感染予防に配慮しつつ、通常の活動ができればいいと思います。

大田支部の今は

大田支部長 直井 一郎

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出により、本支部の理事会や総会・各種行事等の中止が続きました。

今年度は、まずは「総会開催」を考え、密を避けるために五月の理事会・役員会を総会に振り替える形を考えました。

全会員にその趣旨を伝え、返信により多数のご理解を得て実施しました。また、所属確認や近況の把握ができ、「近況報告」として総会資料とともに報告しました。

年度当初の会員は、本会員七十二名。内訳は区内在住会員六十一名、区外在住会員十一名。特別会員五十九名、計百三十一名となっています。

大田支部の日常的な活動の実施は難しいところですが、会員の親睦を図り、研修を深め、教育の振興に寄与して行きたいと思っています。

令和3年 秋の叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。

(敬称略)

瑞宝小綬章 (1名)

新藤 久典 (北多摩西部)

瑞宝双光章 (10名)

沖川 洋 (練馬)

小野寺侑希子 (北)

齊藤 治 (目黒)

齋藤 福次 (板橋)

高貝 正志 (北多摩中部)

成田 一代 (八王子)

松井美枝子 (狛江)

矢野 澄夫 (足立)

今野 幸雄 (千葉中部)

若林 英鋭 (神奈川県)

(福利厚生部長 増田 稔)

令和3年 春の叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。

(敬称略)

瑞宝小綬章 (1名) 有賀 康修 (台東)

お詫び 新しく会員になりましたが、その確認を十分に行っておりませんでした。
心よりお詫び申し上げます。

(前福利厚生部長 守屋 龍男)

高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。

(敬称略)

(令和3年9月14日現在 本部に届けがあった方々)

瑞宝小綬章 (2名)

小泉 恭平 (神奈川県)

奥田 亮二 (神奈川県)

瑞宝双光章 (3名)

小松千代夫 (西多摩)

須藤 哲夫 (神奈川県)

武智 恒雄 (神奈川県)

(福利厚生部長 増田 稔)

コロナ禍を乗り越えて

江戸川支部長 柴田 正幸

昨年度はコロナ禍のため一年間支部活動を休止しました。今年度は総会、役員・理事会(隔月)、研修会等ほぼ通常の活動を実施できております。

六月の支部総会では会則の改正を行い、会員の呼称や慶弔規程等を見直しました。また、自然探訪クラブ・女性活躍クラブを立ち上げました。

十月には区立児童相談所「はあとポート」についての講演会(講師、区子ども家庭部相談課長)、「囲碁を楽しむ会」(囲碁クラブ主催)、「宝篋山ハイキング」(自然探訪クラブ主催)を実施しました。女性活躍クラブは現在イベントを計画中です。

今後の課題は恒例の新年懇親会を開催できるかどうかです。六月(中止)、一月の懇親会は会員が最も楽しみにしている催し物ですので実現を心から願っております。

「故郷」と「第二の故郷」

大島支部長 村田 公充

新型コロナウイルスの影響で全ての活動を休止している本支部ですが、残念ながら今年度も仲間が二名旅立ってしまい、総会員数十一名と更に減少しています。

この仲間たち(全員男性)には「自然薯」と呼ばれる生まれも育ちも大島という方と「為朝様」と呼ばれる大島に移住してから貢献し続けて下さっている方がいます。意外なのは、大島の自然や歴史などについて、より詳しくかったり実体験したりしているのが、島を第二の故郷としての方々なのです。「もともと島で」と「外から島に」とは、そういう事なのかも知れません。さて、この島にも学校行事や町の行事が戻りつつあります。小中学校の運動会なども開催されましたが、早く安心して会員の皆さんと顔を合わせられる日が来るのを心待ちにしている今日この頃です。

◆◆◆クラブ紹介◆◆◆

囲碁クラブ

委員長 佐々木和廣

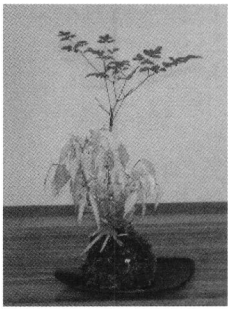
昭和四十八年十一月、参加者二十五名で第一回囲碁大会が開かれました。二年後の昭和五十年からは退職校長会のクラブ活動として助成を受けられるようになり、会員数も二百七十二名の大所帯となりました。宿泊研修なども行われ、充実した活動が展開されたと聞いています。今年度はクラブ発足四十九年目となり、令和四年度は記念すべき節目の五十周年を迎えます。現在は六月に総会・春季大会、十一月に秋季大会と年二回実施しております。参加人数は毎回二十名前後で少々淋しいですが、熱戦が展開されています。会員数は年々減ってきており、現在は六十五名です。新会員加入を切に願っているところです。

園芸クラブ

委員長 天野 正忠

当クラブは、令和二年二月十四日（令和元年度行事）の国風盆栽展見学会を最後に、今日まで活動停止状態が続いています。そこで、会員同士の情報交換に役立つ様な、通信の発行を企画しました。そこに投稿された記事の中に、以前当クラブの苔玉講習会で使用した、ナンテンをプランターに下ろしたら忽ち大きく育って、植物の生命力に深く感じたという記事が寄せられたのでここに紹介します。

さて、緊急事態宣言も解かれましたが、気を緩めることは出来ません。慎重に会を運営して行きたいと思えます。



ナンテンを使った苔玉

メダカ会（短歌クラブ）

委員長 岩井 昭

メダカ会・短歌クラブの中心活動は歌会です。対面して、合評、選歌をします。声を発して行うことは感情の理解、作歌の技術向上などにより有効です。

令和二年度は計画を立てていました。しかし、コロナの流行により令和元年度後半より活動休止となり、令和三年度も活動休止です。

クラブ員は「身を守る」「短歌を続ける」を大切にしていきます。従って活動中止もやむを得ないと考えています。また、対面を大切にしているので、オンラインによる歌会は考えていません。

コロナの状況が変わってきた今、歌会の場合（湯島の事務室）を確保し、会員みなまでの歌会を再開したいと考えています。

水墨画クラブ

委員長 井上 爽

今年の九月の定例会は、コロナ禍で緊急事態宣言解除前ではありましたが、四百六十六回目の研修会を五名の参加者で実施しました。

この会は、月一回行われ（八月はお休み）四十年を超える古い歴史を持っています。

また、第二十九回作品展を予定していましたが、二年続けて中止となりました。

長きに渡り花村光江先生（日本画家）からのご指導をいただいておりますが、三年前に他界され、現在は会員が資料を準備して研修しています。

会員数十名。高齢者の集まりではありますが、歴史ある会の意味を思い、コロナ禍に打ち勝って作品作りに励んで、新宿中央公園エコギャラリーにて第二十九回作品展を開催したいと考えています。

ソフトテニスクラブ

委員長 石原 容子

退職校長会唯一の運動クラブです。現在、部員は十三名ですが、実際にテニスをする方は年々減ってきているのが現状です。「会場」杉並区松ノ木コート「練習日」一か月前には練習日を郵送でお知らせしています。月に二～五回で、一回二時間です。

「練習内容」参加者が抽選で順番を決め、ゲームを中心に活動しています。

「会費」年間、三千円

現在の課題は、メンバー不足と杉並区在住・在勤者不足です。メンバーが少ないと、二時間の練習の時間ずっとプレーしなければならず、きついのです。杉並区在住・在住の方に入っていたきたいのは、杉並区にかかわりのある方でないとテニスコートをとるためのカードを作る事ができないのです。

興味のある方、石原携帯に是非ご連絡ください。

番号090(1819)6423

写真クラブ(TKC)

委員長 甲野 恵美

TKCの会員は現在50名、97歳を最高齢に71歳までの会員が和気あいあいと活動している。活動の柱は撮影・展示・研究・親睦である。年2回の作品展、年7回の撮影会、年1回の宿泊撮影会、外部講師による講習会、会員を講師とした研究会、自評会、懇親会を実施している。コロナウィルスの影響で春展は中止したが秋展には35名が出品170名の来場者を迎えた。来場者の中に子供が多かったことを嬉しく思う。97歳の会員が79歳の教子9人と記念写真を撮っている様子に感動を覚えた。案内看板を見て入ってきた方が一枚一枚食い入るようにご覧になり「僕ももう一度写真をやりたくなった」と言われたこと、毎年おいで下さる来賓者の言葉「今日は○○さんのがありませんが元気ですか」も忘れられない。

感謝

釣りクラブ・千代田会

委員長 町田 静隆

当クラブは、昭和50年に創立され、46年の歴史と伝統があります。私たちは「釣り」を趣味として、海の景色で心の洗濯も兼ねて、毎月一回は海釣りに出しています。

では、どんな魚を釣るかという、4月からシロギス、5月アジ、6月イサキ、7月五目釣り、8月ニジマス（海は暑いので溪流で）、9月イナダ、10月アジ釣り大会、11月アマダイ、12月ワラサ、1月ワカサギ（寒いのでドーム船で）、2月研究・懇談会、3月イシモチというように釣りやすい魚種を選んで釣行に出かけています。家族も土産の新鮮な魚に大喜びです。

初心者でも丁寧に教えますので、興味のある方は、ぜひご参加ください。

情報推進部開設の趣旨

副会長 情報推進部担当 福島 良樹

インターネットを使い自分が必要としている情報を即時に検索できたり、ZoomやWebex等のツールを利用してテレビ会議に参加できたり多くの会員にとって楽しいと思えるような支援の活動を推進していきたい。

特に、各支部と都本部の連携や交流を一層深めていくための活動になればと考えている。

具体的取り組みを挙げてみる。
○現在、正副会長会、運営委員会がZoomによるWeb会議を実施しているが、各部会等にもこの手法を展開していきたい。

○新入会員の届け出、会員の異動報告、叙勲の連絡等の必要な届け出用紙等は退職校長会のホームページからダウンロードしていただけるよう環境整備に取り組みたい。

○ホームページに「各支部の様子」というメニューボタンを新規追加して、各支部の特色ある活動を掲載していきたい。

○ITの光と陰、インターネットの安全な使い方について情報を提供していきたい。

※従来手法である文書連絡、電話等は引き続き維持していきたい。

新入会員の声

B会員から正会員へ

世田谷支部 保原 勝紀

私の教職歴は、3地区8校で最終校の世田谷区立祖師谷小を平成15年に退職しました。21年からは支部の会報部員として活動しています。昨年度から部長を引き継ぎ、会員の呼称改訂を機に、都退職校長会の仲間入りをしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

世田谷支部は、今年度創立60周年に当たりますが、コロナ禍のために式典・祝賀会等が開けませんでした。そこで、年2回発行の支部会報94号を60周年記念号とするべく、編集に鋭意取り組んでいるところです。

4年前から関わっている川崎市の子屋事業と世田谷支部での役割は、私の生活に張り合いを与えてくれています。「人生百年」の時代、無理をせずに続けていこうと思っています。

定年退職を迎えて

渋谷支部 守原 智信

昭和五十八年に保健体育科の教員として入都し、三十八年間中学校現場で教育に携わってきました。この三月で定年退職し四月から再任用校長として渋谷区立松濤中学校に勤務しています。

思い返せば校内暴力の嵐の中で教員生活をスタートさせ、若さに任せて熱い思い先行の指導をしていたことを懐かしく思います。教員生活は決して順風満帆ではありませんでしたが、指導がうまくいかなかった、悩んでいた、常に温かく見守り声をかけてくださる当時の校長先生や諸先輩方がいてくださり、応援してくれる生徒たちや保護者・地域の皆様がいてくださったおかげで今の自分があると思っています。六十歳の定年を迎えましたが、ここからは恩返しの気持ちで教育に携わり、次世代を担う先生方を育て支援していきたいと考えております。

保障が充実。 なのに、ムダがない アフラックの医療保険。

ライフステージの変化に合わせて、
その時々で必要な保障を変えられるため、
ムダなく最適な保障を備えていただけます。

NEW/
医療保険
EVER
Prime

No.1 がん保険
医療保険
保有契約件数
令和元年版 インシュアランス生命保険統計号
約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入
(詳細はホームページをご確認ください)



〈募集代理店〉(アフラックは代理店制度を採用しています)

三井住友トラスト・ライフパートナーズ株式会社

☎0120-357-212 FAX03-3233-6754

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

◎商品の詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。

〈引受保険会社〉「生きる」を創る。

Aflac

アフラック
東京第一法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル19階
Tel.03-3344-1446

AFツール-2020-0347-2101001 10月22日

啐啄同時

調布支部 渡邊 桂子

「啐啄同時は教育の原点なり」
 恩師から教わった言葉を胸に、
 広島で教職をスタートし、その
 後、八王子市、日野市、杉並区、
 府中市、調布市でお世話になり、
 令和三年三月をもって、調布市
 立若葉小学校を最後に定年退職
 いたしました。

現職の時からご指導や励まし
 を賜ってまいりました、調布支
 部長の鈴木治子先生から本会へ
 の入会のお誘いをいただいたこ
 とは、大きな喜びでした。また、
 私は八王子市在住ですが、ご縁
 の深かった調布支部へ入会させ
 ていただいたことを幸いに思い
 ます。

四月からは、調布市内の小
 校で新人育成教員として勤めて
 おります。若手教員との関わり
 においても啐啄同時を心がけ、
 「教育は人なり」の具現化に向
 け、人材育成に力を尽くす所存
 です。宜しくお願いいたします。

今は大変革のとき

北多摩北部支部 岩崎 治彦

現在、再任用校長として頑
 張っております。

学校現場は昨年から、コロナ
 禍を契機とした諸改革を余儀な
 くされてきました。

しかし、本来、AIなどの技
 術革新や文化、経済、コミュニ
 ケーションのグローバル化など、
 急速な大変革が進む今という時
 代において、学校教育はもっと
 早く大胆に変わっていなければ
 ならなかったのでは？そして、
 今も大して変わっていない…。
 そう強く思う昨今です。

確かに漸進的方法も大切で
 す、学校教育については、あま
 りに多くのしがらみや慣習、思
 惑や利害が絡まり、重くて重く
 て中々変えられない。経験への
 過信が作り上げた常識は岩盤の
 如く…、そんな大人の都合が優
 先される。私のような年を取っ
 た者ではなく、進取の気性に富
 む若い力に心から期待したい。



ご希望のご予算に合わせて お葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として
 昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。
 会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応



フリーダイヤル

0120-849-544

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ



東京都民互助会 平安祭典

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL03-3396-7231 FAX03-3395-8874

ホームページ



(令和3年9月14日届出現在)

(福利厚生部長 増田 稔)

増木 晴郷	黒澤 昭夫	安藤希與子	金子 町子	加島 直吉	大島 信夫	芦田龍一郎	會田 武夫	板橋外喜雄	成田 一成	五十嵐 勇	氏名	年月日	支部名	校種	年齢	名簿頁
令3・8・29	令3・8・26	令3・8・19	令3・8・15	令3・8・12	令3・7・28	令3・7・10	令3・7・7	令3・6・13	令3・5・6	令2・10・30						
大島 中	文 京	葛 飾	町 田	板 橋	府 中	荒 川	西多摩	北多摩西	北多摩中	江 東						
85	93	69	95	92	95	96	83	96	92	83						
82	4	38	50	29	67	26	77	72	65	7						

物故者

謹んでご逝去を悼み
ご冥福をお祈り申し上げます



<本会のメリットとは！>

(6回シリーズの第5回)
会員増強プロジェクト・チーム

生涯学習時代 ～進んで学習会に参加しよう 学び続ける会員は若い～

現場を離れ日々に緊張感が薄れ、生活リズムは守りながらも、単調な生活となる。テレビ・ラジオ、新聞、雑誌、専門書、パソコン等で情報や知識を独学で得るものの、何か思考の深まりが浅い。物足りなさを感じていた時、本会の先輩の紹介を受けて、本会や支部の研修会に参加した。講演を聞きながらメモを取っていると、高血圧症ではない脳の血流の高まりを覚え、背筋が伸びた。久々に高揚感と充実感を味わった。熱心に聞き入る参加者の方々が神々しく見え、学び続ける人は若い！と感じた。これからは私もいろいろな会合に進んで参加をしたい。

(平成18年入会 O・G氏)

応募コーナー

俳句

杉並支部 俳句クラブ作品

頼もしや岩でくつろぐカルの雛
秋菊の見事に咲いて人目引く

井口 茂

爽やかや宝ジエンスの国歌斉唱
潮騒に菊香たゆたふ城跡かな

井口 茂

中秋や地に温もりの陰宿し
返り花朝日に清か去り難し

木下佐千子

短歌

○ようやくに心決し復帰する
君の笑顔に明るさ戻りて

○たかぶれる心の定規まっすぐに
伸ばしてやらんと少年の話きく

中野支部 田中弘志

○なに祈る訳でもなしに手を合わす
落葉破れる路地の地蔵に

○ぎこちなきお点前なれどその白き
柔らかき手を見つつ羨しむ

西多摩支部 高橋和子

○電話帳亡き人の名の現れて
しばし見つめて消すをためらう

○スマホ見る目の輝きと親指の
弾む動きに新時代知る

西多摩支部 宇津木順一

○オトリ鮎連れて来いよと解き放ち
最初の一匹釣れるのを待つ

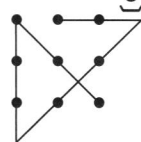
○久しぶり孫の授業を観ていると
私だったらとよみがえる癖

西多摩支部 宮崎慶一

◆2ページの正解
(問1) A・B・D
(問2)

4	9	2
3	5	7
8	1	6

(問3)



編集後記

コロナで私たちの生活が制限され家に居ることが多くなった。クラブ紹介で、活動の中心は歌会という短歌クラブは「声を発して行うことは感情の理解、作歌の技術向上などにより有効です。」と書いています。

感情の感染とトルストイが言っているのだが、声は、発した人と聴く人との感情を共感し人間理解を深めること。

会員が、一堂に会せないのは他のクラブや支部活動にも及んでいる。人との絆が深まるのは触れ合い、つながりを持ってこそである。

ニュースで伝えられる悲惨な事件も人間性を失いかけている現状が起因かと思わないではない。

日本の総人口の9.6%が八十歳以上の高齢者である。外出を避け最近のTVドラマ等を見ていけると背景にある昭和の歴史や豊かな人間性の育成を目標に教育実践した体験を思い起こさずにはいられない。

共に教育に汗した仲間が一人でも多く入会することを切望する。
(大須賀 敬子)